

平成17年12月19日  
独立行政法人海洋研究開発機構

**釧路・十勝沖「海底地震総合観測システム」の一部障害について  
(お知らせ)**

1. 状況

独立行政法人海洋研究開発機構（理事長 加藤 康宏、神奈川県横須賀市）が運用している海底ケーブルを利用した釧路・十勝沖「海底地震総合観測システム」（平成11年7月設置、[図1](#)参照）は、平成17年12月19日午前10時37分に沖合約140km・水深約2,400mに設置してある海底地震計1からのデータ取得が中断し、これまで回復作業を進めてきましたが、依然として中断しております。

なお、海底地震計2（沖合約140km・水深約3,600mに設置）及び海底地震計3（沖合約100km・水深約2,100mに設置）並びに先端観測ステーション等、他の機器については、正常に稼動しています。

2. 原因

詳細については現在調査中です。

3. 今後の予定

陸上部の受信装置故障の可能性もあり、障害の特定、障害点の切り分けを試みるとともに障害修理の検討を進めます。

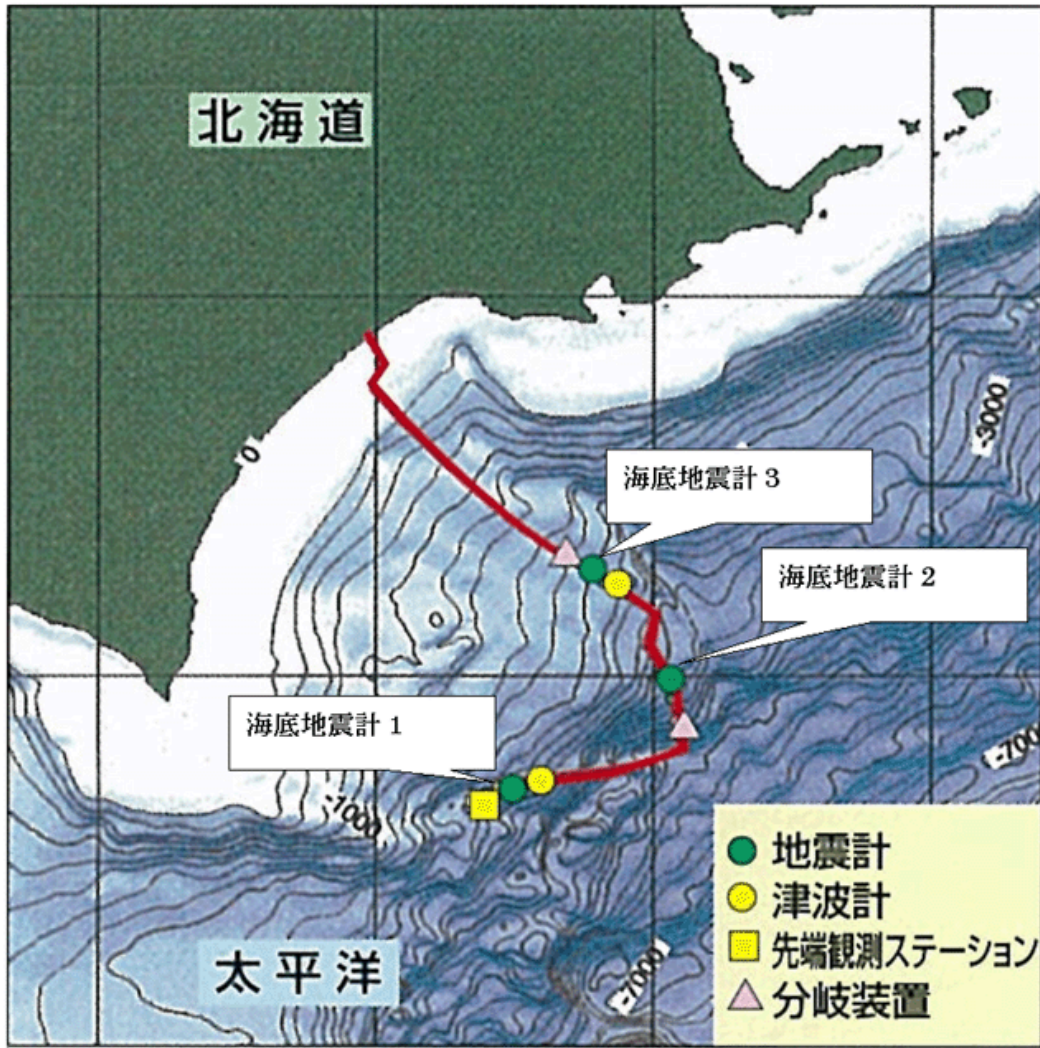
参考

[釧路・十勝沖「海底地震総合観測システム」概要図](#)

問合せ先

海洋研究開発機構海洋工学センター海洋技術研究開発プログラム  
海底観測ネットワーク技術研究グループ 担当:浅川 賢一、満澤 巨彦  
TEL 046-867-9364

経営企画室報道室長 大嶋 真司  
TEL 046-867-9193



釧路・十勝沖システムの観測装置配置

